

「からまつ」のようにきびしい自然に耐え、どっしりと大地に根をおろし、すくすくと育つ西春別小学校の子ども



## 別海町立西春別小学校 学校だより からまつ No.18

令和2年12月25日発行 校長 太田 等

学校の教育目標

知 よく考え表現する子  
徳 心豊かで思いやりのある子  
体 進んでやりぬくたくましい子

### 充実した冬休みを！

太田 等

本日終業式が行われ、2学期が無事に終了しました。

今学期もコロナ禍にあるということから、学芸会や音楽祭といった様々な行事が縮小、延期、中止となりましたが、子ども達は、そうした中であっても、これまで通り挨拶を励行し、学習に集中するなど、今すべきことに一生懸命取り組んでいました。その姿はとても健気で立派でした。これも保護者や地域の皆様のご理解とご協力によるものと感謝しております。有難うございました。



特にマスクの着用や消毒の励行など、新しい生活様式となったことにより、相手を思いやる気持ちが増えたとともに、自分の感情に向き合い、自分の感情をどうコントロールするかといったことや、さらに心をいかに豊かにしていくかを考える良い機会になったのではないかと思います。

過日の早朝、「怒りを知り、自分の感情と上手に付き合う方法」という番組が放映されていました。

まず、「ライター」を喩えに「(人の)怒りのシステム」が述べられました。つまり、ライターの「炎」が、「怒り」。「ガス」が、不安、苦しい、悲しいといった「マイナス(ネガティブ)な感情」。「着火スイッチ」が、「こうあるべき」「こうするべき」「～するべき」という自分の信じる事が「裏切られた」という感情です。例えば、「自分は三密を避けるべきだ」と思っているのに、そうした人がいないといった場合に起こる価値観の違いです。コロナ禍では、「先行きが見えない不安によってマイナス感情が強くなり、それが外出自粛などで火花が散る機会が増え、炎が燃え上がりやすい状態になっている。」とのことでした。この感情とうまく付き合うには、「イラっ」とした時にあらかじめ用意しておいた「大丈夫 大丈夫」「大したことない」などの、「自分の気持ちを静める言葉」を6秒間自分の中で唱えることが有効だそうです。(6秒あれば、何らかの理性が働いて人間らしく振舞うことができるとのこと)この言葉は、好きな人の名前とか好きな食べ物とかでもよいそうです。次に、「怒り」の内容をメモ(文字化)することで、後で「あっそうか、自分にはこういう傾向があるな」という『自分の着火スイッチ』が分かり、自分の怒りをコントロールすることにつながっていくそうです。

また、今月初めには探査機「はやぶさ2」が小惑星「りゅうぐう」での任務を終え、地球にカプセル投下というミッションを果たすと同時に、将来地球に衝突する可能性のある小惑星探査のため、再び地球を離れるという報道がありました。総走行距離は100億キロ(地球を25万周する距離:地球1周=4万キロ)で、次の地球帰還は、11年後の2031年だそうです。「はやぶさ2」の挑戦は、遥かな宇宙空間を想像させるとともに、「夢」や「希望」「未来」といった創造性を心のキャンパスに描き出してくれます。

未曾有の時代となりましたが、知恵と工夫で発想を転換することはできます。豊かな心の在り方を子ども達と共に学び、成長と向上の喜びを共感していくことが、これからの教育のあるべき姿でもあります。

明日からいよいよ冬休みが始まります。「これまでの冬休み」とは違いますが、それぞれのご家庭の中で、日常ではできない子ども達との心の交流をしていただき、有意義な冬休みにしていただければと思います。また、積雪や凍結による転倒や交通事故にはくれぐれも注意していただき、「慌てず」「油断せず」「無理をせず」を基本に、安全第一の声掛けを宜しくお願いいたします。

最後に保護者地域の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。2021年もまた西春別小学校の子ども達のため、よろしくお願い申し上げます。皆様 どうぞ 良いお年をお迎えください。

## 第2学期 終業式

今学期はコロナ禍の影響で、学校での行事や活動などが、思うようにできませんでした。それでも、1年生から4年生までの学級代表の人たちが良かったことや課題などをみんなの前で発表しました。



## 中学年 郷土資料館見学

17日(木)、3,4年生が郷土資料館に、社会科の授業の一環として見学に行きました。「昔の道具について知ろう」という単元です。館長様からの説明に加え、実際に洗濯板や昔のアイロンを使ったり、湯たんぽで足を温めながら自分が焼いたせんべいを食べるなどの生きた体験をしました。



## 子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

### ● 電話相談

☎ 0120-3882-56

(無料、毎日24時間対応)

### ● メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

### ● 来所相談

(10~16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)

子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

※上記の電話相談で予約してください。

※ センターのWebページに、「子ども相談支援センターへの相談事例」を掲載しています。次のURLからご覧ください。

URL:<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/soudanjirei.pdf>

## 「携帯メールによる情報提供」について

◎本校では、保護者の方々に連絡する方法として「電話による連絡網」に加えて、「携帯メールによる連絡(携帯メールによる一斉配信)」を取り入れております。たくさんのご利用をお願いいたします。

◎基本的には今まで連絡網を利用していた内容に加えて、下記について配信します。学級の連絡はこれまで通り、学級連絡網などを使用します。

- ア 天候判断が必要な学校行事の有無。
- イ 学校行事など、迎えが必要なときや遅れなどの時刻の変更があったとき。
- ウ 天候により臨時休校、繰り下げ登校、途中下校などの事態が生じたとき。
- エ 熊出没、不審者など、本校として緊急性が高い事態が生じた場合の情報提供や送迎などのお願い。

◎特にこれからは急な天候変化による臨時休校の連絡が想定されます。

◎メール配信をご希望の方は、小学校メール pny\_kyouto@b-school.jp を入力して行るか、QRコードのどちらからでも登録が可能となっておりますのでお手続きを行ってください。



## 健康で楽しい冬休みを!!

◎明日(26日)から冬休みが始まります。計画的に学習に取り組み、規則正しい生活と食事を心がけ、ケガやインフルエンザなどにも気をつけて、健康で楽しい冬休みにして下さい。ご家庭でもこれらのことが守られるよう、お声をかけていただきますようお願いいたします。

◎始業式は1月13日(水)となっています。